

# カメラに映る下田の魅力

現在、放映されているNHK大河ドラマ『龍馬伝』では、吉田松陰が踏海の企てをする場面をはじめ、様々なシーンが下田において撮影されました。  
今回は、下田で撮影された映画やドラマ、また撮影支援の取り組みについて紹介します。



NHK大河ドラマ『龍馬伝』撮影風景(舞磯浜)

## 下田の魅力を世界の人々へ

### ロケーションに恵まれた環境

下田では、これまでに映画やテレビなどの撮影場所として、数多くの作品が生み出されてきました。このことは、決して偶然ではなく、下田がロケ地として、非常に恵まれた環境を持っているためです。幕末開港の舞台となった史跡、なまこ壁に代表される歴史情緒を残す街並み、白砂の海水浴場、色とりどりの花々や緑豊かな自然公園……。歴史・自然・風土などにおいて、下田はたくさんのロケーション資源を持っています。また、これだけの資源があるにも関わらず、首都圏から比較的近い場所であるという地理的な利便性も兼ね備えています。こうした条件を持つ下田だからこそ、多くの製作者の皆さんが撮影場所として、下田を選んでくれているのです。

### ロケーションが生み出す

#### 経済の活性化

例えば上の写真を見てもわかるように、撮影の際には、

非常に多くのスタッフが帯同します。映画撮影などでは、その数が100名を超えることもあるそうです。撮影期間中のスタッフの宿泊費や飲食費などは、地元経済への直接的な効果を生みます。

また、近年ではフィルムツーリズム(ロケ地観光)と呼ばれる新たな旅行形態も生まれています。雑誌やテレビなどでロケ地が紹介されることにより、その作品のファンの人たちが、実際の撮影場所を訪れるのです。加えて、そのようなメディアで紹介されることは世界の人たちに対し、下田の知名度をアピールすることとなります。作品で映し出される風景が、下田のイメージを飛躍的に向上させることにもつながるのです。

こうしたことから、映画などの撮影場所誘致や支援活動は比較的ローコストにも関わらず、非常に大きな経済効果を期待できるのです。

それでは、近年に下田で撮影された主な作品と、印象的なエピソードを紹介します。

### 作品にまつわるエピソード

#### 映画『ハーバー吉野』

ロケ地 蓮台寺、稲梓など  
タイトルにもなっている床屋「ハーバー吉野」は、蓮台寺の「東京軒」が使用されました。フィルム・コミッション伊豆が本編映画として初めて誘致した作品であり、完成披露特別試写会では下田市民文化会館に700名を超える来場者がありました。

#### テレビドラマ

#### 『世界の中心で、愛をさけぶ』

ロケ地 須崎九十浜など  
九十浜での撮影日が、天皇陛下が須崎御用邸に静養に訪れた日と重なったため、厳戒態勢のもとで撮影となりました。

#### 映画『サイドカーに犬』

ロケ地 外浦海岸など  
下田をはじめ、伊豆地域、県内外からも100名以上の方々がエキストラとして、参加していただきました。

### ◎Interview

特定非営利活動法人NPO 伊豆  
フィルム・コミッション伊豆

板垣 敏弘 さん



フィルム・コミッション伊豆の統括ディレクターとして、下田を含めた伊豆全域の撮影支援活動を行っている板垣さんに、ロケにまつわる質問をしました。

Q. ロケ地としての伊豆(下田)の魅力は?

A. 何よりも青い海と白い砂浜が、映像制作者にとっては魅力だと思います。都内からのアクセスを考慮しても強力なアドバンテージがあります。あと地域のロケに対する理解度が高いことでしょうか。皆様の温かいご理解とご協力があったからこそロケなので、この点は制作者に対してもポイントが高いと思います。

Q. これまで立ち会った撮影のなかで一番大変だったのは?

A. ロケの規模、難易度から考えると、やっぱり大河ドラマでしょうか。『龍馬伝』もそうですが、一昨年の『篤姫』も大変でした。大河ドラマのスタッフの多さは大型劇場映画以上ですし、映像におけるクオリティの高さも映画を凌ぎます。しかも、『篤姫』の時は伊豆で28年ぶりの大河ドラマでしたので、私どもにはノウハウも全くなく苦労はありました。苦労の甲斐あって『篤姫』で下田市内の爪木崎や舞磯浜でのロケが行われたため、『龍馬伝』でもその経験が活かされ、地元皆様のご協力のおかげもありロケはスムーズに行われました。

Q. 今後の取り組みは?

A. フィルム・コミッション伊豆は設立から10年目を迎えようとしています。過去10年の実績において、「ロケのメッカ伊豆」を確立してきました。お陰様で映像制作者側からは、『ロケ地伊豆』に高い評価をいただいております。全国でも5本の指に入る地域であると自負しています。

今回、『龍馬伝』で「下田龍馬伝志援隊」が旗揚げされたように、これからは作品を活用した伊豆地域のトータルプロデュースができるようになることが、今後の地域振興には重要だと考えます。そのためには、財源や人材などの更なる体制強化を図って行く必要性はもとより、地域の皆様との更なる連携強化を図る努力も必要です。また作品誘致においては、より地域にメリットの高い優良作品の誘致に向けて努力していきたいと思っています。

## フィルム・コミッション伊豆

「映像を通して地域を再発見し、地域づくりと経済的振興を図る」という目的で平成13年に設立。『伊豆はひとつ』を合言葉に、伊豆地域14市町の行政、各種団体などが、共同して伊豆全域での撮影の誘致や支援活動を行っています。

## 撮影に関する語句解説

フィルム・コミッション  
映画やテレビなどの撮影場所誘致や撮影支援する非営利組織。

ロケーション(ロケ)  
映画やテレビなどの制作に際し、屋内のスタジオでなく、自然の中や街頭などで行われる撮影。

エキストラ  
映画やテレビなどの群衆シーンなど、多人数が登場するシーンでちよとした役で出演する人。

## 近年に下田で撮影された主な作品

撮影時期	タイトル
2001年 11月	テレビドラマ「モーニング娘『伊豆の踊子』」
2002年 7月	映画「透明のブルー」
2003年 1月	映画「巖流島(GANRYUJIMA)」
3月	映画「ハーバー吉野」
6月	映画「空蝉の花」
9月	テレビドラマ「STAND UP!!」
10月	映画「オーバードライブ」
11月	映画「RANBU 艶舞剣士」
2004年 5月	映画「オベレッタ狸御殿」
6月	映画「血と骨」
8月	テレビドラマ「世界の中心で、愛をさけぶ」
2005年 1月	テレビドラマ「仮面ライダー響鬼」
3月	テレビドラマ「あいくるしい」
4月	映画「水の花」
5月	映画「春の雪」
6月	テレビドラマ「海猿」
2006年 3月	テレビドラマ「私の頭の中の消しゴム」
10月	映画「サイドカーに犬」
2007年 3月	テレビドラマ「Around40~注文の多いオンナたち~」
9月	大河ドラマ「篤姫」
2008年 7月	映画「そらそい」
9月	テレビドラマ「魔王」
2009年 1月	映画「超仮面ライダー電王&ディケイド」
4月	テレビドラマ「婚カツ!」
11月	大河ドラマ「龍馬伝」